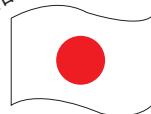


山梨県神社庁報

かみかね

祭日には国旗を掲げましょう



8月11日 山の日
9月17日 敬老の日
9月23日 秋分の日
10月8日 体育の日

平成30年夏号 (第182号)



奉祝
天皇陛下御即位二十年

黒平能三番 (山梨県無形民俗文化財)

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩
とに感謝し、明き清
きまことを以て祭祀
にいそしむこと

一、世のため人のために
奉仕し、神のみこと
もちとして世をつく
り固め成すこと

一、大御心をいただきて
むつび和らぎ、国の
隆昌と世界の共存共
栄とを祈ること

神社本庁定例評議員会開催される

「新統理に鷹司尚武前神宮大宮司が就任」

神社本庁 評議員 古 屋 真 弘

神社本庁定例評議員会が平成三十年五月二十四日二十五日の両日、神社本庁大講堂で開催され、本県からは根津庁長、中込総代会長、古屋本庁評議員の三名が出席した。

二十四日の一日目には、北白川統理の挨拶があり、「明年の御代替りの諸儀式が滞りなく行われ、さらに御即位三十年の奉祝行事が国民挙げて盛大に行われるよう取り組まなければならぬ」と述べられた。次に、小松神宮大宮司、打田神道政治連盟会長、小堀靖国神社宮司から来賓としての挨拶があった。

次に中山評議員会議長が登壇。異動報告の後、物故評議員に対し黙祷を行った。最初に、田中総長が庁務方針の概略を説明。中でも天皇陛下の御即位三十年に対し、奉祝の機運を高め奉祝行事に取り組むこと、御代替わりの諸儀式が国の儀式として執り行われるよう注目していく事を話され、続いて「本宗」については、「本宗奉賛活動強化推進委員会」の議論を踏まえ、

神宮大麻頒布が減体しているが、各位の連携のもと増体に向けて尽力をお願いする。「包括団体業務」については、不活動宗教法人対策について積極的に取り組んでいく事。神社及び神職基礎データ等本庁所有情報のセキュリティ対策を完璧にする事を含め、神社庁システムを本年十二月に改善する事。「国民運動」については神道政治連盟と共に皇室護持はもとより、御讓位の諸儀式について注視していく事、自主憲法制定に向けてこの機に多くの関係者に働きかけていく事。「教化」については、家庭祭祀の振興を図るとともに、過疎地神社対策として「過疎地域神社活性化推進委員会」の設置に伴い指定地域を定め神社、地域の活性化に取組む。「広報」については御代替りを念頭に、本庁刊行物の更なる充実を計ること。国際交流活動については、訪日外国人の急速な増加に対応するよう、外国人向け資材の頒布を進める。「祭祀」については、例年通りの本庁幣

供進、臨時御奉幣に関する事務を執り進めること、指導者養成、後進の育成に務めること。「教学」については神道教学研究大会の開催、「神社本庁総合研究所紀要」の刊行を行う。「任用」については公正かつ適切な任用を行うとともに、時代の変化に即応した人材の育成と、資質の向上を図る等々が話された。

続いて「平成三十年度一般会計歳入歳出予算案」「一般会計資金年度内一時繰替の件」が上程され、総額四十九億五千八百五十万円、前年度に比較し、千五百八十六円の増額になっている事、歳入では本宗交付金と特別納付金が減額になった事、歳出では神宮大麻頒布向上対策費、情報管理費のサーバー機器類の交換、新たな神社庁システムの構築にかかる部分が増額になった事が報告された。また合わせて「御代替関係特別会計歳入歳出予算案」「財政特別資金の一部を他の特別会計に繰入れる件」の二議案が当初の二議案とともに、慎重に審議をはかるため、予算審議特別委員会に附託された。

いくつかの質疑がなされたが、最後に和歌山県の評議員から「来年に控える御即位三十年

の慶事と御代替りに向けて、神社界のゴタゴタを終結し、神職総代気持ちを一つにして行かなければならない」との発言が印象的であった。

二日目は、予算審議特別委員会委員長から審議結果報告ののち、採決が行われ四議案とも原案通り可決された。また、議案審査特別委員会委員長から提出された議案三件が上程され、提案者からの説明のあと、原案通り可決された。

また、今回の評議員会の追加議案として、北白川道久統理から「健康面の不安から公務を欠席することもあり、もう少し若い方に替わっていただき、神社界を活性化して欲しい」とした上で、統理退任の意向が示された。それに伴い、統理選挙が行われ、鷹司尚武前神宮大宮司が全会一致で当選された。鷹司新統理は就任の挨拶の中で「謙虚に神社界の現状をよく見つけ、皆様とコミュニケーションを取りながら、より良い斯界を築いて行きたい」と述べられた。評議員会の閉会に先立ち、中山評議員会議長が、北白川前統理に対する御礼と感謝の言葉を読み上げ、閉会した。

全国神社総代会定例代議員会報告

山梨県神社総代会 会長 中 込 豊 秋

神社本庁に於いて五月二十二日、代議員会（総代会）が開催され、会務報告があり、後に平成二十九年度歳入歳出決算報告、説明、監査報告があり承認され、更に平成三十年度事業計画案、歳入歳出予算案が審議され、両案とも承認された。事業計画六項が掲げられ、特筆すべきは、日本の国柄に合った憲法の改正、国歌、国歌を東京オリンピックを好機として推進する、この二項目は総代として重視すべきと思われました。本年は全国神社総代会設立六十周年にあたり、この記念大会が九月二十六日熊本県に於いて開催されます。多くの方々の御参加をお願いします。

二十三日池田厚子神社本庁総裁御臨席のもと、明治記念館に於いて表彰式が催され、本県より、神職、根津庁長、望月久男氏、石原鎮氏、塚川宣行氏、総代から棚本佳秀氏、五名が表彰の栄に浴しました。

二十四日評議員会に於いては役員会より上程された平成三十年度歳入歳出予算案並びに会務報告を田中恒清総長より説明があり、総て審議の上承認された。

二十五日最終日各ブロックより提案された神社本庁に要望するとの提案あり、前述の六項等について再審議、討論の末承認

突如北白川道久総理より退任の要望が示され、休憩中、役員会において、鷹司尚武（前神宮大宮司）が選任された報告あり、評議員会、全員の賛成で承認されました。神社界多難な折、誠に御苦勞様であります。

二十三日夕刻より、全国の総代会長の懇親会が催され、席上不活動神社についての問題が話題になり、関心がある方、無関心の方もおりましたが、人口減少に依る年一回の祭も催されな大変な苦勞されている神社もあり、若者の神社に対する無関心も大きな原因でもある。学校教育のなかに日本歴史を教えないことも問題であると、問題点の指摘もあり、最後は神社本庁も歴史教育について力強く取り組むべきだと本音を語る人もあり、政治家は何を考えているのか、と酒の勢いで盛り上がりました。いつもとは違う懇親でありました。私は一言、この問題はこれから先更大きな問題になります。宮司さんだけでは駄目です。総代さんも一緒に取り組むことが大切だと申し上げると、途端に静かになりました。私はこの話題が更に多くの各県の総代会長が語られることを期待しております。神社界再生を。

神社本庁規程表彰を受けて

山梨県神社総代会 北都留支部 会長 棚 本 佳 秀

平成三十年五月二十三日神社本庁表彰式が明治記念館で池田厚子総裁御臨席の下、厳粛に行われました。私も永年の功績が評価され、表彰の栄に浴し感激の至りであります。関係者の皆さまに深く感謝を申し上げます。式典前に受彰者全員の記念撮影がありました。そして午後一時三十分池田厚子総裁の御入場により、会場が一瞬キーンと張りつめたような厳かな雰囲気の中、式典が始まりました。開式の辞、神宮遙拝、国家斉唱、敬神生活の綱領唱和に続き、池田総裁の式辞がありました。

「日本固有の伝統や精神文化を求める中、人々の心の拠り所となる全国神社に寄せられる期待は大きく関係者のますますの精励を願う」とのお言葉をいただき身の引き締まる思いがしました。表彰は千葉県浅間神社宮司宮間孝夫様と愛媛県軍ヶ森神社宮司長曾我部延昭様に鳩杖贈呈から功績表彰と続き、私達総代役員一〇二名は、第三条第三号規程表彰状と徽章、銀盃を池田厚子総裁より賜りました。続

いて来賓祝辞を、小松揮世久神宮大宮司と全国神社総代会々長（代理、荒巻禎一副会長）が行い、受彰者を代表して謝辞を千葉県浅間神社宮司宮間孝夫様がいき厳粛な式典が終了しました。本日の本庁表彰式には、山梨県神社庁長根津様を始め神社庁役員の宮司様や支部役員の方々に御同席をいただきました。式典後には東郷神社に正式参拝をし、神社会館内で受彰祝賀会を催して頂き根津庁長様から御祝の言葉を頂いたり、胸に徽章を付けていただきました。感激と同時に更に神明奉仕の念を強くし、山梨県神社庁発展のため、尚一層尽力する決意を新たにしました次第であります。



神道政治連盟中央委員会報告

神道連山梨県本部 本部長 渡 邊 平 一 郎

去る六月十三日、前日の役員会、本部長・事務局長会議に続いて、神社本庁大講堂に於いて、神道連中央委員会が開催された。

開会儀礼の後、打田文博会長挨拶があった。明治維新より百五十年を経た現在、朝鮮半島をめぐる諸問題と現状認識及び我が国の政治状況、憲法改正における神道連の試案提出の報告と現況について、特に明年の今上陛下の譲位と新天皇の即位の各儀式に対する国の取り組みについて、我々神道連の最重要政策である「皇室の尊厳護持運動」を基に政府に対して要望する案の挨拶と明年の通常参議院議員選挙への早期取り組み協力要請があった。

続いて田中恒清総長の挨拶があり「米朝会談の結果や現在の国内の政治状況などの報道が、マスコミによって違い、まちがった報道もされている。報道の取捨選択と神道連が果たす役割が今ほど重要な時はない。心を一つにして取り組みたい。」と挨拶された。

その後、自民党を代表して高村正彦副総裁が「先の衆議院選と新潟知事選の自民党への変わ

らぬ応援への御礼と、御代替わりでの様々な行事に対し、神道連の意に沿って政府とともに進めてゆく」との挨拶をいただいた。この後、稲田朋美神道連国

会議員懇談会事務局長が、明年の参議院選挙と本年九月の総裁選の応援のお願いと「正しいことを正しいという人・国 真の道義国家を目指す」との決意を述べられた。最後に本年三月に靖国神社宮司に就任された小堀邦夫宮司の挨拶をいただいた。表彰の後議事に入った。議事は、平成二十九年年度事業報告、二十八年度歳入歳出、特別会計収支、三十三年度活動方針、事業計画、一般会計歳入歳出予算案などが原案どおり承認、可決された。この後、来年の参議院選の比例区推薦候補として有村治子参議院議員に推薦状を打田会長より手渡し、その後有村先生より御礼と神道連と心を一つにして政治に取り組む旨の決意表明があった。山梨県本部としても当然応援するものではあるが、当然出身の赤池誠章先生も立候補の予定であるので皆様には、是非共宜しく御協力の程お願い申し上げる次第です。

平成三十年度神宮参与同評議員会

伊勢神宮崇敬会代議員会報告

峡北支部 支部長 森 越 義 建

去る六月七日、八日の両日、平成三十年度神宮参与、同評議員会、伊勢神宮崇敬会代議員会が開催された。

全国より五五四名の参加があり、山梨県神社庁より十五名の参加となった。

一日目、六月七日は山梨を早朝貸切バスで出発し二時伊勢に到着、一同新緑瑞々しい外宮、内宮の御垣内参拝を済ませた。

その後、神宮会館大講堂へ移動し懇親会が催された。先ず、小松揮世久大宮司より御就任と鷹司尚武大宮司の御退任、池田厚子神宮祭主の御辞任、天皇陛下第一皇女子黒田清子神宮祭主の御就任の奉告参拝があったことなどが話され、斯界への御心を寄せいただいた事への感謝の言葉が述べられ、そして挨拶の後、参加者と懇親を深めた一時であった。

二日目、六月八日午前九時半より内宮神楽殿に於いて大々神楽奉奏の後、神宮会館大講堂に移動。十一時より神宮参与、同評議員会、伊勢神宮崇敬会代議員会が開会された。開会儀礼の後、主催者を代表して小松神宮大宮司と松下伊勢神宮崇敬会長

の代読で挨拶。大宮司は、式年遷宮に対し多大な御協力に感謝すると共に、未だ続く別宮の遷宮が順調に執り進められており、終わりに近いと話された。

功労者顕彰では、神宮雅楽部に永年楽器奉納、大太鼓他の無償修理等を重ねる、愛知県津島市の堀田新五郎商店堀田新五郎氏に感謝状と記念品が贈呈された。これに対し謝辞が、堀田新五郎氏より述べられた。

次に来賓を代表して、鷹司尚武統理からの祝辞を田中恒清総長代読、続いて鈴木健一伊勢市長が祝辞を述べた。次に座長挨拶で議長が選出され、議事に入った。まずは、神宮少宮司から神宮の現況について概要の説明があり、担当部所各部長から神宮の現状を資料により詳しく説明がなされた。主に平成二十九年両正宮参拝者数、神宮大麻・暦頒布数推移等の説明がされた。

次に伊勢神宮崇敬会より、事業報告又次年度事業案が提示され、説明方協力をお願いの言葉があり閉会と成った。天候に恵まれ、有意義な二日間であった。

「山梨の神社 朱印展」

山梨県神社庁教化委員会では、この度『山梨の神社 朱印展』を企画し開催した。会場に岡島百貨店七階をお借りし、開催期間であった平成三十年六月一日～十日の間に述べ三〇〇名のご来場を得た。

開催期間中は、土日曜を問わず沢山の来場者が訪れ、同席にて百貨店企画の有名菓子販売も開催された効果もあってか、老若男女が興味津々と各お社の御朱印を観覧していった。御社頭の奉仕とは違い身近に感じて頂き、当番神職に気軽に声をかけて頂く姿も多く見受けられ、神職の白衣白袴姿での説明も印象



深く、教化広報の観点からも意義あるものとなった。

開催に至るまでの経緯として、乙黒研修部副部長からの素案を基に、また昨今の神社朱印巡りの流れを重視し、まずは県内の御朱印対応状況を把握するべく、調査を開始した。県内一二六四社あるお社の内、七五社より回答を頂き、本務社兼務社、対応時間、神職不在など諸問題を確認しつつ、事業展開への論議を進めた。委員会としても、この企画に期待感があり、中村教化委員長をはじめ手答えを感じつつ、初めての事業に手探りながらも当日開催への準備に取

り組んでいった。この事業は以下の三点に重点を置いた。①事業開催の広報②御朱印の扱い③社頭への案内、である。まず、①に関しては、葉書形式の案内状を作成、県内宮司宛に郵送し、氏子・総代・崇敬者への告知に重きをおいた。また、各委員のSNSでの拡散などインターネットを利用した広報も活用し対応した。②は、ご提供頂いた実物の御朱印を掲示する上で論議をなしたが、データ化することで今後の幅広い活用方法や盗難・破損への影響を考慮し、パネル形式での展示に収まった。③の、御社頭へのいざないは、提供神社点在県内マップ作成、並びに神社名リスト作成に留まった。本来御社頭で戴くはずの



御朱印を外界で展示することで反響はあるが、どのように御朱印を求める参拝者に神社へ導き、教導するかは今後の課題となろう。

多くの来場者を頂いた今回の事業であったが、反省点も見受けられた。会場ではアンケート調査をさせて頂き、様々の意見を回収できた。神職の神社不在状況なども露呈し、今後の神社界としての問題点にもなろう。最後に、貴重な御朱印をご提供頂きました宮司様、そしてこの事業にご協力を頂きました県内神社関係者皆様に、改めて感謝を申し上げます。この成果を今後の教化広報に活用し、より良い事業を提供して参りたいと存じます。

東京矯正管区教誨師研修会開かる

教誨師 佐々木 高 仁

去る六月二十一日・二十二日の両日、栃木県鬼怒川のホテルを会場に開催された。

関東甲信越静の一都十県の教誨師・施設職員・来賓等三〇〇名を越える関係者が参加した。当県からは五名の教誨師と施設関係者が参加した。

今回の研修会の主題は「未来へ」、副題は「宗教教誨の使命を見つめて」である。

昨今の犯罪事情の変化に教誨は対応できているかの研修である。従来の犯罪は貧困・怒り・怨み等加害者にそれなりの事情そして情状すべき状況があった。ところが昨今は魑魅魍魎的な人間の出現により謝罪を一切口にせず、積極的に死刑を希望するかのような犯罪の加害者に対する教誨を被害者の癒されない無念の気持との対比のなかで、教誨をより深めてゆくことを目的とする研修であった。

研修は菊池寛著の『ある抗議書』を課題図書にすめられた。作品は、ある強盗殺人事件の被

害者夫婦の弟からの司法大臣への抗議文という形で、事件の発生から犯人逮捕、そして犯人が絞首刑になっても、その無念が晴らせないことの心情がづづられている。

加害者である犯人は教誨を受

過疎地域神社活性化委員会報告

委員長 小佐野 正 史

斯界の「喫緊の課題」とされてきた過疎対策。昨年各都道府

県に「過疎地域神社活性化推進委員会」が設立された。第一期

の「推進指定地域」として、当県では甲府市金櫻神社を中心に

黒平地区（黒戸奈神社・大山祇神社）を決定し、活動を推進してきた。此度の施策は神社単位

ではなく地域単位の取り組みであることが特徴で、神職、総代氏子崇敬者らの相互扶助を基調としながら、地域ぐるみで神社を中心とする祭礼行事の振興、

け、入信し、死を恐れなくなつた。そして落ち着いた面持ちで絞首刑に臨んだ。幸福のうちに死ぬことができたのである。

『加害者への赦し、被害者への手当』永遠のテーマのような気がする。

研修会終了後は全体での懇親会及び宗派毎の懇親会が行われた。

翌日は式典・表彰式・記念講演（養老孟司先生）が行われた。

継承、復活を図っていくことを理念とする。

数回の委員会、志村幹人宮司との打合せ会議を経て、去る五月一日、金櫻神社に新設された

仮設の神楽殿において、県無形民俗文化財（昭和三十五年）に指定されている黒平地区の伝統

芸能「黒平能三番」が上演された。舞の起源は古く（一八五

年）その昔追祖神祭りや、結婚、新築、出産など、めでたい事のあった家の座敷を舞台に舞う儀式的祝言として行われてきた舞

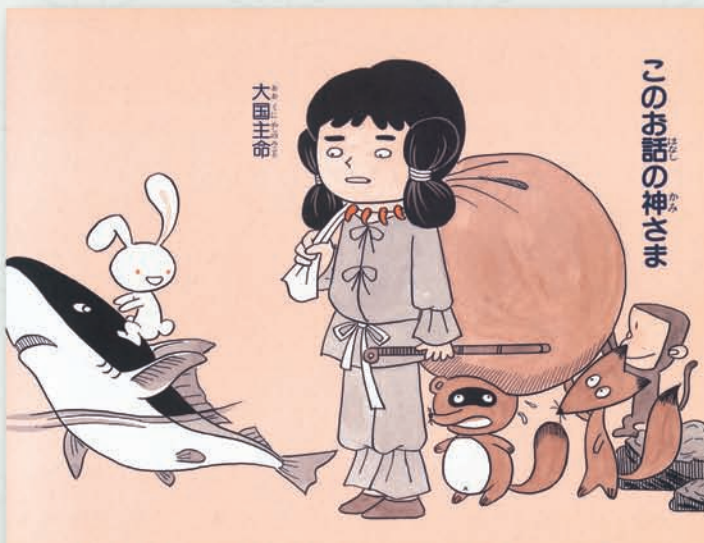


である。当日は天候にも恵まれ、多くの人々を迎えての上演となった。当委員会としてもポスター、チラシを作製し広報に努めた。又四月二十八・二十九日の例祭には、金櫻神社大々神楽の奉納も行われた由うかがった。

当委員会としては、一年目である為実績づくりの秋と考える「神社は地域のつなぎ役」「神社は気持ちの拠り所」とする地域共同体の意識と、今回の過疎対策とを結び付け、地域共同体の祭礼行事を通じた地域おこし村おこしなどに発展していけばと念願する。本年度中に過疎実態調査アンケートを計画している。関係各位には、関心を高めていただき、共に神社奉護に努めて参りたい。

まんが古事記

いなばのしろうさぎ (第四話)



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木二―一―二

神社本庁内

電話 〇三―三三三九―八〇一―

一冊 一二〇円

あらすじ

おやにぬしのみこと
大國主命には沢山
の兄弟がいっぱい
いました。命はある
時、お兄さんたち
のお供で旅に出ました。
すると、海岸で赤裸
になったうさぎが泣
いていました。そこ
で、命がやさしく声
をおかけになると、
うさぎはその話を話
しました。

そのうさぎは、海
の向こう側に住んで
いましたが、いつも
こちら側に来てみた
いと思っていました。
でも海は広くてとて
もうさぎには泳いで
渡ることが出来ませ
ん。そこでうさぎは
一計を案じ、海に住
むワニに声をかける
のでした。

※昔はサメ類をワニ
と呼んでいました。

お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。





今から千三百年ほど以前に纏められた『古事記』・『日本書紀』はわが国の古典の中でも最も古いものとされています。

天武天皇の命令で稗田阿礼が暗誦した神代からの伝承を太安万侶が書き上げ、和銅五年（七一二）に元明天皇に献ったものが、『古事記』です。此度漫画化した「いなばのしろうさぎ」は、『古事記』の中でも代表的な話で、『因幡国風土記』にも収録されています。

『風土記』には独立した話として登場し、単なる物語としてではなく、傷病に対する民間療法について記されているともいわれています。

『古事記』の中では、須佐之男命の御子である大国主命の一連の物語の中の一つの挿入話として出て来ます。稲羽の素戔いなばのすけを助けた大国主命は、須佐之男命のおられる根国に赴き、須佐之男命の課した試練を克服してその娘須勢理毘売すせりひめと結ばれ、その後少名毘古那神と共に国造りをします。この大国主命を中心と

した一連の神話は、身近な動物も活躍し、私たちの祖先がどのような世界観、人生観を抱いていたのかを知る事が出来ます。

幼い頃、母の膝の上で聞いた神話。そこは、神々の躍動の場であり、何かしれぬ不思議な感銘を覚える世界でした。この感銘は、豊かなイメージを育み、宗教、芸術などを味わうことのできる情操を培う基礎になるものといえます。

日本人の信仰、日本の文化・伝統の原点ともいべき神話に、お子様が触れることによって自然に感性が育まれ、正しい人格形成の基礎が確立されていくことになるでしょう。





次号より、絵本 日本の神話（公益財団法人 日本文化興隆財団 刊）を掲載いたします。



日本の神話には、四季や自然に恵まれた日本国土の成り立ち、生死の起源、天孫降臨と日本の建国などが語られています。この壮大な物語を文字がなかった時代から口伝で語られてきたのを文字でまとめたものが、今から約一三〇〇年前に編纂された日本最古の古典である『古事記』です。

『古事記』には、個性豊かな八百万の神々が現れ、奇想天外な展開など数多語られています。そのまゝを解釈するのではなく、その中にある私たちの祖先が描いた世界観を楽しんでいただきたいと思います。

また、神話は、神様と私たちが繋がっていることも伝えていきます。これは、神話に語られている神様が、今も全国の神社で大切に守られていること、天照大神から天孫降臨、第一代神武天皇に続く天皇の系譜が今の天皇陛下まで連綿と続いていることなど、まさに神様と私たちが繋がっていることを明らかにしています。

この絵本を子供達に読み聞かせていただくことで、先祖から伝えられてきた壮大な世界観を通して、感性豊かな心の育成に繋がることを願っています。

神青協一都七県協議会総会

教化部 津 金 善 美

去る平成三十年六月十八日、浅草ビューホテルに於いて第二十四回神青協一都七県協議会総会が東京都神道青年会の主管により開催されました。当日は東京神社庁副庁長小泉朋昭様、清水祥彦様、神道青年全国協議会会長佐野巖様を始め、多数の御来賓と神青協一都七県協議会の仲間達総勢百十八名の参加を得て盛大に執り行われました。

午後一時三十分より総会次第に則り開会された各審議事項に於いて特筆すべき事は、今年度の同協議会会長に当会の小佐野正崇君が、また事務局長に高坂雄次君がそれぞれ就任した事です。二人はそれぞれの立場でとても大きな責務を担う事となりますが、斯界の興隆と発展の為に更なる活躍を期待しています。また、当会会員諸君に於いても二人の重大な責務が恙無く遂行出来るように一層結束を固め、多大な支援と協力をしていく必要性を感じた次第です。

総会終了後には、元総合格闘

家でお茶の間を賑わせ、現在は拓殖大学レスリング部監督、作家、ミュージシャン、書家などマルチな活躍をされている須藤元氣先生より「自分が変われば世界が変わる」東京オリンピックに向けて」という講演が行われました。副題となっていた東京オリンピックの話をされなかったのは少し残念でしたが、臨場感空間の作り方や、自分がマイナスであると感じている物の見方を変えて考えてみることの大切さをご教授して頂きました。移りゆく時代の中で、私たち青年神職が何を守り、何を变えていくべきかを考える上でとても意義深い内容の講演でした。



全国女子神職協議会

設立三十周年記念大会に参加

山梨県女子神職会

副会長 網 藏 五十鈴

去る、七月九日全国女子神職協議会の設立三十周年記念大会が、明治記念館に於いて、神社本庁田中恆清総長を始め、ご来賓の出席を戴き、全国より会員二三百名の参加にて執り行われました。

本会は平成の御代と同時の平成三十年二月に発足され、今年三十年の佳節の年を迎えることになりました。全国では二二二〇名の女子神職がご奉仕されております。

記念式典が曙の間にて開催され、神宮遙拝、国歌斉唱、物故者への黙祷の後、中嶋建乃会長が式辞を述べ、次にご来賓の祝辞を田中総長、神宮大宮司ご名代葦津神宮禰宜、神道政治連盟会長ご名代加藤副会長、全国敬神婦人会北白川会長に戴き、石上神宮森宮司により聖寿の萬歳を声高らかにし、最後に女子神職の歌を全員で斉唱し式典を終了。

次いで記念講演を午後二時半

より富士の間にて「生まれたてのさだまさし」の演目で、シンガーソングライターであり、小説家のさだまさし先生の講演を拝聴いたしました。ユーモアたっぷりのトークと、すばらしい歌を聴かせて戴きました。またさだまさし先生は公益財団「風に立つライオン基金」を設立、様々な助成事業や被災地支援活動をされているそうです。

その後、祝賀会になり、山谷えり子参議院議員、有村治子参議院議員より祝辞を戴き、田中総長の乾杯の御発声で祝宴に入りました。

全国から参加した会員同士が、友好を深め和やかな気分でお開きになりました。



全国神職保護司会

総会に参加して

小室浅間神社 宮司

宮下 重 範

第二十九回全国神職保護司会総会が、六月十一日・十二日に自然豊かな北の大地、北海道において、全国から六十名余の保護司として活躍されている神職の皆様方が集い開催された。

本県からは、山梨県神職保護司会根津泰昇会長以下四名が参加した。

今年は天皇陛下が御即位になり三十年をお迎えになられた節目の年であることから、御即位三十年を寿ぎ、北海道大会として式典を挙行し、引続いて総会に移る形式で、二段階に分けて実施された。

式典に先立ち、道都札幌市の中核に位置し、広大な杜に鎮座する北海道神宮において正式参拝を行い、一同心身の清浄と身の引締る思いを抱いて、大会（総会）会場のある登別市に向った。



式典においては開式儀礼の後、大会委員長である黒澤壽紀北海道神職保護司会会長から歓迎の挨拶を頂戴し、北海道命名百五十年・天皇陛下御即位三十年の慶祝の年、春と夏の花が咲き乱れる好機に大会・総会を開催できることは誠に名誉なことであり、列席された方々に、もてなしと感謝のことを熱く述べられた。

続いて、福田勉全国神職保護司会会長の式辞に入り、昨今の

凶悪犯罪の多発や、事件事故の頻発している状況を憂い、これでは安心安全な社会を脅かすものである。これまで培ってきた、安心安全な国日本を堅持するためにも、鎮守の杜を通じて神の畏敬の念を心の奥深く浸透させ、心の砦を築いて行かなければならないので引き続き尽力願う。と訴え掛けられた。

来賓の北海道地方更生保護委員会委員長をはじめとする皆様方からの祝辞においても、近年、犯罪の件数は減少しているものの、再犯率が増加しており、国においても「再犯防止推進法」を定め、県・市町村とも連携して再犯防止推進計画が策定され、取組みが始められている。鎮守の杜からも再犯防止に取組み、安心安力な地域づくりに力を注いで頂きたい。また、家族の絆が希薄になってきていることから、心の通った更生保護の大切さを体現しつつ、今後とも宗教家としての立場から精神的な支えになって更生保護の取組みに尽力して頂きたいことなど

が強く語られた。

総会・議事に入り、平成二十九年年度の事業報告と決算、三十九年度の事業計画と予算など順調に承認・決議された後、副会長・常任理事の改選がなされた。

改選は、副会長二名及び常任理事四名を選出するものであり、山梨県の会長である、根津庁長が副会長に選任され、会の中核として、引き続き運営を担って行くこととなった。

最後に、来年の総会を東京都において実施することを決め閉会となった。

翌二日目は、梅雨の無い北海道で絶好の大自然を満喫できる好機であったが、生憎の台風・前線の影響により、雨に祟られてしまった。

しかし、六キロメートルに及ぶ直線道路をひた走り、車窓から目にする緑深い、新鮮さが心に染み入り、心和む感銘を受けた時を持つと共に、参加者同士の心を通わし融和が図られる等充実した総会参加となった。

山梨県氏子青年協議会報告

事務局長 根 津 佳 明

去る平成三十年六月九日、談露館において『平成三十年度山梨県氏子青年協議会総会』が、根津泰昇山梨県神社庁庁長を始め五名の来賓の方々の出席を戴く中で行われました。議事では、平成二十九年度会務・会計報告、平成三十年度事業案・予算案の承認等、慎重審議滞りなく納めることが出来たことをご報告致します。

さて、当会は山梨県氏子青年



協議会と称し、構成単位会は「北口本宮富士浅間神社氏子青年会」「稲積神社崇敬青年会」と二単位会で組織されておりま

す。活動内容や事業内容などは昨年の『かいがね』をご一読いただきたく存じますが、本年も七月七日～八日に行われます「全国氏子青年協議会愛知大会」へ参加してまいります。また、本年十月六日には「氏子青年協議会関東地区研修会」の主催を請け負うなど、斯道興隆に向け精進しております。その為、総会後の懇親会までの時間を使い、山梨県神道青年会遠藤会長を交え関東地区研修会の進行方法、氏子青年会としての意義やあり方、今後の活動について話し合い協議を進めました。八月には関係各位の皆様にご案内させて頂きます。

このように当会員一同心を一つに力を合わせ精進してまいりますので、今後とも神職・総代各位の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げ結びとさせて頂きます。

山梨県敬神婦人連合会報告

会長 古 屋 真 紀 子

平成二十九年七月四日神社庁に於いて役員会を開催し、総会及び全国敬神婦人大会静岡大会の参加旅行について協議しました。

役員改選を行い、二期六年会長を勤めていただいた乙黒夏恵会長（武田神社敬神婦人会）から古屋真紀子（浅間神社敬神婦人会）が会長に選任され、副会長丹澤起恵子さん、中村正代さん、山本育子さんに決まりました。住吉神社敬神婦人会がご都合により退会しました。

八月二十二日神社庁にて総会を開催、多数の出席者のもと平成二十八年度決算報告、事業報告及び監査報告が行われ、平成二十九年度予算案事業案が満場一致で可決されました。

その後神社本庁広報国際課録事阿部めぐみ氏の記念講演「女子神職の服装について」吉田鞆子さんの例を中心に「を拝聴しました。

九月二十六日に第六十八回全国敬神婦人大会静岡大会が静岡市民文化会館にて開催され全国各地から一五〇〇人余りが参加して、「DAIDOUGEI」パフォーマンスショウの清興のあと北白川慶子会長の式辞に始まり式次第修了後、記念講演では徳川記念財団理事長の徳川恒孝氏の「家康の愛した駿府」を拝聴しました。大会前に駿府城を見学し東御門や紅葉山庭園などを散策してお抹茶を頂き、ゆったりとした時間を過ごしました。

今年は九月六日に神奈川で敬神婦人大会が開催されます。九月六、七日の一泊二日での全国敬神婦人大会参加旅行を計画しています。伊勢山皇大神宮正式参拝、鶴岡八幡宮、小町通り散策も予定しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。また国旗小旗の作成を各単位会ごとをお願いして五〇〇本を神社庁を通して日本国旗協会へお送りしました。

支部だより

甲府支部

甲府支部神職研修旅行に参加して

大神宮 加賀美 るみ
大河原 美穂子

平成三十年五月二十九・三十日、甲府支部神職研修旅行に参加しました。

まず遠江國一宮小國神社にて正式参拝。清々しい巫女舞に心が洗われました。

小國神社の宮司様を中心に神職の皆様が協力されて、氏子・崇敬者・参拝者にとって心の拠り所となる神社を目指し、様々な工夫を重ねておられました。

例えば境内地に創られた「ことまち横町」は大変な賑いでセンスの良いお店で多くの方が楽しんでいました。宮司様が名付け親の「みもろ焼」も境内に窯を置き、御神木の杉の落葉を釉薬にしており、慶事の贈物としても好評との事でした。

雅楽の伝統継承の為、地元教育委員会との協力のもと、小学生が神社で合宿し稽古に励んでいるそうです。こうした一つ一つの努力と試みの積み重ねにより多くの方の崇敬を集めているの

だと感じました。見どころが多く後髪を引かれる想いで神社を後にしました。

翌日は航空自衛隊浜松広報館を見学。自衛官の皆さんは雨の中懸命に訓練に励んでおられました。大画面で上映されたブルーインパルスの曲技飛行映像「創造への挑戦」は圧巻でした。私達国民を護る為の任務に対する崇高なまでの真剣さ、強く高潔な精神に胸を打たれました。神職と自衛官、職業は違えど、その仕事に対する心構え、一筋に努力し、励む姿勢は学ぶべきところが多くありました。

今回の研修旅行で得た貴重な見聞をこれから先の神明奉仕につなげていきたいと思っています。



祭典を斎行して

式年大祭を斎行して

北都留支部 八幡神社

宮司 渡邊 學

大月市猿橋町の甲弓山の山頂に鎮座する八幡神社の式年大祭が五月三、四の両日斎行された。二日午前九時新調した祭具備品を始め氏子総代、役員が里宮において大祓の儀式が始まり、午後五時神宝の錦御旗は里宮より出幸し甲弓山の本宮において前夜祭を斎行。三日午前十時宮司以下祭員、献幣使、随員、祭典委員、氏子総代と各地区の役員、崇敬者が里宮より参進し本宮において奉幣祭が斎行された。これより錦の御旗が「ご開帳」となる。この錦の御旗は清寧天皇の御代に大和の国柏原出生の遺臣が当地に落ちのび、軍内郷を称して、山野を拓き、産業を興し、軍中の錦旗を御神体として祀り、貞観二年菅田別尊を勧請し八幡宮と称しました。しかしこの錦旗は南北朝の動乱の折相模の薬師寺に移され、このため安永七年戊戌年二月京都北白川所蔵の御旗を下賜され、本殿造

営に費やした十二年を朴し式年大祭を始め、錦旗を御開帳、機神とし信仰を集めている。四日には錦の御旗の本宮下山に先立ち、神事後猿橋町朝日小沢、大田、小沢、津成小篠、久保、幡野、小倉、賑岡町強瀬の計九地区の神楽がそれぞれ奉納された。この奉納神楽は、本殿再建の折に近隣各地区の崇敬者等が浄財を寄進し、以来十二年に一度の戌年の式年大祭に甲弓山の本宮に参拝し、神楽の舞と錦の御旗を拝観し下山するのが通例となった。市内でも神楽の共演は珍しく里の祭り広場でも山頂の範宮に登れない人達の為に夫々の神楽が披露され深夜まで賑わい無事式年大祭は終了した。



支部総会報告

峡南支部総代会総会

日時 五月六日(日)午後一時

場所 三珠総合福祉センター

東八代支部総会

日時 五月二十日(日)午後二時

場所 浅間神社

峡北支部総代会通常総会

日時 五月二十一日(月)午後三時

場所 魚光会館

峡中神社総代会並びに

山梨県神社庁峡中支部総会

日時 六月二十七日(水)

午前十時三十分

場所 櫛形生涯学習センター

各総会には根津庁長、中込総代

会長が出席しました

今後開催予定の支部総会

甲府支部神職総代会合同総会

日時 七月二十三日(月)午後一時

場所 ベルクラシック甲府

北都留支部総代会総会

日時 七月二十六日(木)午後一時

場所 大月市民会館

東山梨支部総会

日時 八月二十四日(金)

場所 山梨市民会館

南都留神社関係者大会

日時 十一月五日(月)

場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

祭典日程

7・21 富士吉田市新屋連神社夏祭り宵祭

7・22 富士吉田市新屋連神社夏祭り

7・29 甲斐市篠原八幡神社茅の輪祭

7・30 韮崎市若宮八幡宮例祭(三十一日)

7・31 甲府市美咲御崎神社みそぎ祭 甲府市善光寺柴宮神社祓祭 甲府市千塚八幡神社みそぎ祭 甲斐市中下条松尾神社みそぎ祭 長坂町大八田建國神社夏越祭

8・1 甲府市千塚八幡神社みそぎ祭例大祭

8・5 都留市朝日馬場石船神社夏祭

8・8 大嶽山那賀郡神社大祓 富士吉田市大明見小室浅間神社高座神社祭

8・15 忍野村忍草浅間神社忍野八海祭

8・17 山梨縣護國神社戦没者追悼式 大月市飯岡町畑倉春日神社例大祭

8・18 富士山小御嶽神社例祭

8・19 昭和町西条義清神社義清公慰霊祭

8・20 南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭

8・26 石和町市部石和八幡宮祭社(二十日祭)

8・26 北口本宮富士浅間神社鎮火祭(二十七日) 南アルプス市鏡中条巨摩八幡宮三社合同祭 富士河口湖町浅川白山神社例大祭

9・1 都留市生田神社八朔祭 上野原市牛倉神社例祭(三日) 忍野村忍草浅間神社(二十日祭)

9・2 大月市初狩町下初狩八幡神社秋祭

9・3 甲府市東光寺山八幡神社例祭

9・4 山中湖村山中諏訪神社例大祭安座まつり(六日)

9・9 富士河口湖町勝山富士御室浅間神社

9・11 秋季例大祭(神幸祭) 甲府市宮前町八幡神社例大祭 大月市浅利神田神社秋季祭典

9・15 南アルプス市藤田八幡神社秋季例祭

9・16 甲府市飯田八幡神社秋季例祭 富士吉田市上暮地神明社例大祭

9・17 上野原市西原一宮神社例大祭

9・18 都留市田舎倉三嶋神社例大祭

9・19 富士河口湖町船津八王子神社例大祭(神幸ノ儀) 富士河口湖町船津簡口神社例大祭(神幸ノ儀)

9・22 富士吉田市下吉田小室浅間神社例大祭(流鏝馬祭り) 忍野村忍草浅間神社末社諏訪神社例祭・秋季大祭(二丁旦)

9・23 山梨縣神社前夜祭

9・24 山縣神社例大祭・大式学問祭 大月市駒橋三嶋神社秋祭 甲府市愛宕町愛宕神社秋季皇霊祭 一宮町橋立甲斐奈神社秋季例祭 白州町白須若宮八幡神社秋祭例大祭 富士吉田市大明見小室浅間神社護國神社招魂祭(戦没者慰霊祭) 高根町箕輪建部神社例祭・戦没者慰霊祭

9・24 甲府市国玉町玉諸神社秋葉神社祭

10・5 山梨縣護國神社秋季例大祭

10・6 勝沼町勝沼省宮神社例大祭

10・7 甲府市下帯那町諏訪神社例大祭 甲府市朝氣熊野神社例大祭 身延町下山一宮賀茂神社例大祭 甲斐市篠原八幡神社秋季例祭 韮崎市穴山町御名方神社秋季例祭 高根町長沢船形神社秋季例祭 北杜市小淵沢北野天神社例大祭

10・8 八代町北熊野神社秋季例祭 韮崎市藤井町南下条福地八幡神社秋季例祭

10・9 山梨市三ヶ所諏訪神社秋季例大祭 韮崎市穴山町諏訪神社秋季例大祭 大泉町谷戸逸見神社秋祭

10・10 牧丘町西保中管神社秋季例大祭 韮崎市藤崎町岩下勝手神社秋季例祭

10・13 甲府市宝穴切大神社秋季例祭宵祭 酒折宮例大祭(宵宮) 南部町内船八幡神社秋祭例大祭(十四日) 韮崎市穴山町見見神社秋季例大祭

10・14 甲府市宝穴切大神社秋季例祭 市川三郷町宮原浅間神社秋祭・神樂祭 酒折宮例大祭 甲州市塩山熊野神社例大祭 山梨市下栗原大宮五所大神秋季大祭 山梨市大工天神社例祭 石和町内佐久神社例大祭 市川三郷町鴨狩津向城山神社秋祭 身延町八日市場八幡神社秋祭 甲斐市西八幡八幡大神社秋祭 長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社秋季大祭

10・15 塩山山上菅田天神社秋季大祭 石和町市部石和八幡宮秋季例祭

10・16 富士吉田市新屋山神社奥宮祭

10・17 甲斐一宮浅間神社秋季大祭 甲府市善光寺柴宮神社秋祭 甲府市宮原町宇波刀神社秋祭 甲府市千塚八幡神社秋季例大祭・慰霊祭 一宮町末木面之木八幡宮秋季例祭 富士吉田市上吉田山神社例大祭 富士吉田市新屋山神社例大祭 富士河口湖町船津八王子神社参籠祭 富士河口湖町船津簡口神社参籠祭

10・19 桐原軍刀利神社秋祭 富士河口湖町浅川白山神社紅葉祭

10・20 甲府市国母船形神社秋祭 身延町帯金八幡大神社秋季例大祭

「第18回神社関係者囲碁大会」

神社関係者の親睦を深め、併せて青少年の健全育成を図る目的を以って囲碁大会を開催致します。

主催 山梨県神社庁

主管 山梨県教育関係神職協議会

日時 平成30年8月8日(水) 午前8時30分～

会場 山梨県神社庁(甲府市岩窪町572)

参加資格

一般の部 神職・総代・氏子崇敬者

青少年の部 幼保・小学生(各部門10名程度)

参加費 一般の部 一団体に付き 5,000円

申込期日 7月25日(水)まで

申込先 山梨県神社庁

電話 055-288-0003

FAX 055-288-0005

※問い合わせ先 小佐野文男 080-5410-2303

「山梨県神社庁顧問参与会」

神職身分二級以上の神職で構成されております。神社庁顧問・参与会第二十六回例会を下記により開催致します。

記

一、日時 平成30年9月20日(木曜・赤口)午後三時

二、場所 ホテル談露館

「神宮大麻暦頒布始祭」

平成三十年神宮大麻暦頒布始祭を下記に依り斎行致します。

記

一、日時 平成30年9月20日(木曜・赤口)午後一時

二、場所 山梨県神社庁

「奉祝 天皇陛下御即位三十年 設立六十周年記念 第五十四回全国神社総代会大会」

全国神社総代会大会が左記の日程により開催されます。本大会は、全国各県の総代が一同に会して、総代としての意識の高揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとするものです。今年は熊本県での開催です。

記

一、日時 平成30年9月25日(火)～27日(木)

一、会場 市民会館シアーズホーム夢ホール
(熊本市市民会館)

一、旅行費用 宿泊 97,000円

一、申込締切 平成30年8月16日(木)

一、申込先 山梨県神社庁

電話 055-288-0003

FAX 055-288-0005

今後の予定

奉祝 天皇陛下御即位三十年 「山梨県神社関係者大会」

平成30年度神社関係者大会を下記の日程、要項で開催致します。混迷する時局に鑑み神職総代共に神社神道の昂揚に邁進し、以て地域の平安・活性化と国の隆昌に寄与致したいと存じます。何卒万障御差繰り御参会下さいますよう御案内申し上げます。

記

一、日時 平成30年10月22日(月曜・仏滅)午後1時

二、場所 コラニー文化ホール

(山梨県立県民文化ホール) 大ホール

三、内容 第一部 天皇陛下御即位三十年奉祝祭
第二部 式典

「新穀感謝祭」

我が国の御親神、心のふるさとと仰ぐ「お伊勢様」。その限りない御神恩に感謝の真心を捧げ、「瑞穂の国」と称えられた我が国柄への思いを新たに新穀感謝祭を今年も下記の通り実施致します。

ご近所の方、ご友人などお誘いの上御参加下さい。

記

一、日時 平成30年11月13日(火)・14日(水)(一泊二日)

二、神宮では御垣内にて特別参拝、神楽殿での御神楽の奉奏が執り行われ、参拝記念が撤下されます。

三、宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異なります。支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。

